

# ヨシクマ新聞

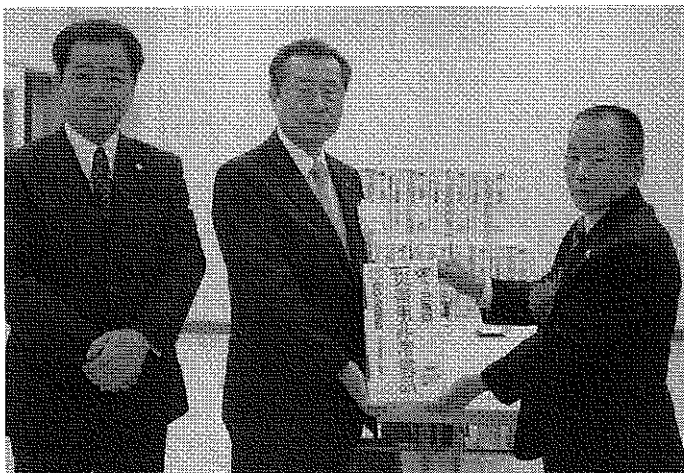
## 防災意識向上に一役

非常食  
推進機構  
御浜町通じ災害物資寄贈

御浜町は17日、社団法人日本非常食推進機構から提供を受けて、敬老会に参加した町民に非常食など災害用物資が入った「白い小箱」を配布した。

同機構では自助、共助、公助連携で助け合いの社会創りを目指し「白い小箱運動」を展開。行政の支援を一切受けずに県内でのキャラバン活動を通じた小箱の無料配布を行い、住民らの危機意識向上や持続性を図っている。小箱には非常食やアルミ防寒シート、ブドウ糖、飲料水2リットル入りパック、ポケットティッシュなどが入っている。

キャラバン隊の展開は今年22日から予定しているが、御浜町には敬老会に合わせ一足早く物資が寄贈された。同機構の古谷賢治



【中門会長(右)に災害物資を手渡す古川町長(中央)と古谷代表理事】

代表理事と、古川弘典御浜町長が中門丈夫町老連会長に小箱を贈呈した。

古川町長は「防災意

識の向上に役立ちありがたい」と感謝の言葉。中門会長も「老連でも防災の意識向上に全力を傾けている。これ

からも積極的に活動したい」と謝辞を述べた。